



第1戦の「第30回DCCSウインターラリー」を皮切りに、7月1日現在、第6戦の「モンレー'99」までが消化され、CMSC勢はCMSC道北・鎌田豊選手をはじめ上位に食い込む健闘を見せています。鎌田選手は第2戦を除けば出るレースは全て勝つという無敵ぶりを今年も見せてくれています。

**Bクラス**  
CMSC道北  
鎌田豊選手  
第4戦優勝  
第5戦優勝  
第6戦優勝

上の写真右はナビの川村選手。

第4戦:「'99ACK SPRING RALLY」4月24日(土)～25日(日)  
スタート・ゴール/大分県日田郡「オートポリス」天候/スタート前まで雨  
第5戦:「ひえつき'99」5月15日(土)～16日(日)  
スタート・ゴール/宮崎県東臼杵郡「椎葉村運動公園」天候/晴れ  
第6戦:「モンレー'99」6月5日(土)～6日(日)  
スタート/群馬県勢多郡 赤城高原牧場「クローネンベルグ ドイツ村」  
ゴール/群馬県利根郡 猿ヶ京温泉「ホテル・コブシャトウ」天候/晴れ



**Bクラス**  
CMSC道北  
鷹野健太郎選手  
第4戦3位・第5戦2位・第6戦3位



**Cクラス**  
CMSC埼玉  
田口幸宏選手  
第1戦4位・第5戦3位・第6戦4位

**Cクラス**  
CMSC浜松  
菅野正之選手  
第6戦6位

## スーパー耐久シリーズ'99 第1・2・3戦

# スーパー耐久シリーズ第1～3戦を振り返って

### CMSC山形 小川日出生

スーパー耐久シリーズ第1、2、3戦ともクラス3位と連続で表彰台に上がったのは、大変素晴らしい結果であると思ひ、また嬉しくも思っています。協力してくれたクラブ員にも感謝したいと思ひます。しかし、タイヤの差とか、燃費の差とかで惜しい負け方をしたことにショックを受けたことも事実です。

昨年までは各戦ごとに優勝チームが入れ替わるなどして、どのチームにも優勝の可能性があり、大変面白かったのですが、今年の上位2チームは強いというのが印象です。しかし、この2チームを破って表彰台のもっと高い所を狙っていくのが我々の目標です。TI、十勝、もてぎ、富士、菅生とまだ5戦残っています。全国のCMSCのクラブ員の皆様、近くのサーキットへ行った際には、応援よろしくお願ひします。

第1戦:「CP MINE 500km RACE」4月3日(土)～4(日)山口県「CP MINE サーキット」天候/晴れ  
第2戦:「ハイランド・スーパー耐久レース」4月25日(日)宮城県「仙台ハイランドレースウェイ」天候/雨  
第3戦:「スーパー耐久・鈴鹿200マイル」5月15日(土)～16(日)長野県「スポーツランド信州」天候/晴れ



第1戦～3戦連続3位入賞。残り5戦でさらに上位を目指す小川チーム。

### CMSC鹿児島 山口修

アジアパシフィックラリー選手権ラリータイランド参戦記

# 完走目標が総合4位クラス2位の結果に!



完走目標が好結果を生んだ山口選手のスタート風景。



3月に開催されたアジアパシフィックラリー選手権・ラリータイランドに参戦しました。過去参戦した海外ラリーは、一度も完走していないため「絶対完走」を意識し臨んだラリーでした。日程は3月10日～12日の3日間がレッキ、ラリー本番は13日～15日の3日間総距離965km(内SS29ヶ所282km)で行われました。

コースは国内で使われるようなタイトコーナーの多い中低速コースからハイスピードコーナーの多い高速コースまでバラエティに富んだコースでしたが、タイ特有のパウダー状のほこりが多く、数ヶ所でコースオフするなどの苦戦を強いられました。また、私の今回のコドライバーは熊本の木村光洋選手で、海外ラリーは初挑戦でしたが、ラリー序盤から息も合い初めてコンビを組んだにもかかわらず、完走を果たした上に総合4位クラス2位という成績を残すことができました。これも「一緒に行こう。」と声をかけてくれた久留米の小宮氏、富安氏をはじめ、サポートしてくれたメカニックや協賛各社のおかげと感謝しております。

また、国内ラリーと比べ走れる距離も長く、難しいラリー区間もないため、とても楽しく走れました。今後も積極的に海外ラリーに参加していきたいと思ひます。



CMSC栃木  
1999スリーダイヤモンドジムカーナ  
5月16日

## 初心者入門用イベントを今後も継続。

当日は朝から雨。参加台数は74台でチーム員、競技参加者とも受付や競技準備に時間がかかり、予定より30分おくれでの競技スタートとなりました。

コース的には初心者向けではありますが、ハイスピードコースを設定したため、雨でのウエットな路面に大半の競技者が四苦八苦している様子で、予想していたタイムよりも約10秒程遅れる記録しか出ないまま、午前の部は終了しました。

午後は雨も上がり、路面もドライになったため競技者たちは午後の部に勝負をかけました。ベストタイムは、1分こそ切れなかったものの、ほとんどの競技者が午前の記録とは比べものにならない素晴らしいタイムを記録することができました。また、コースクリアではアトラクションも兼ねて、我がチームの全日本ダートトライアルドライバーの赤羽政幸選手がエボVIを使用して豪快なドライビングを披露。彼のマシンコントロール技術に競技参加者、観衆ともに大きな興味を示していました。

大きなトラブルもなく無事競技終了。表彰式では競技参加者全員にスポンサー各社様からいただいた賞品が行き渡るようにと、ジャンケン大会も行いました。チーム員と競技参加者が協力しあい、非常に盛り上がった競技会になったと思っています。今後もモータースポーツへの参加数・動員数が増えていくように、チーム一丸となって、企画・努力し、初心者入門用のこのイベントを続けていく所存です。

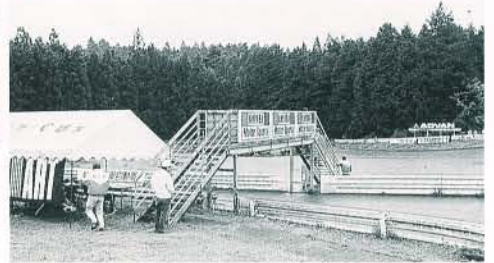
(CMSC栃木 川口法行)



▼ 午後の熱戦に見入る観客のみなさん。



▼ コース風景。



▲ 下谷選手の走り。

CMSC群馬  
CMSC群馬ダートトライアルin那須  
4月25日

## またも雨、ジंकスは今年も生きていた。



荒井会長によるコースクリア。

CMSC群馬主催のダートトライアルは、'99JMRC群馬ダートトライアルシリーズの開幕戦として、4月25日に丸和オートランド那須で開催いたしました。

今回は、豪華海外旅行プレゼントや、ダブルエントリーの女性ドライバーにはエントリー費無料、前日の練習会設定等、いろいろと工夫をこらしてみました。が、エントリー台数71台と昨年を下回ってしまいました。思いあたる理由はただ一つ。「CMSC群馬のイベントは雨」というジंकスのせいではないでしょうか。そして、今年もジंकス通り「雨」。しかも前日の練習会から土砂降り、コースは湖状態。これには、オフィシャル、エントラントともにあきらめ顔といった所でした。

競技は、悪天候にもかかわらずスムーズに進行し、オーバーオールタイムも2分台というたっぶりのロングコースは、十分楽しんでいただけたと思います。表彰式には、大雨にもかかわらずビッグプレゼントの海外旅行の当選を願って、たくさんのエントラントの皆さんに参加していただきました。来年こそは、ジंकスを打ち破りたいと思いますが、こればかりは自然が相手なので・・・。

(CMSC群馬 笠原章史)

CMSC大阪  
ホワイト&CMSC大阪スーパーダートトライアル  
3月14日

## 前日の豪雨も上がって、ドライで開催。

1999年3月14日新日鉄オフロードウェイにてJAF近畿ダートトライアル第1戦ホワイト&CMSC大阪スーパーダートトライアルが開催されました。開催前日の土曜日には激しい雨に見舞われとてもヤキモキしてしまいましたが、当日の路面状態は、なんとかドライを保つことができました。競技のほうは、各クラス熱戦を繰り広げ、総合優勝はブッチぎりの速さをみせてくれた、CMSC大阪の吉村修選手でした。

出走120台中、5台のリタイヤがありました。ケガ人もなく無事競技は終了しました。来年もまた、CMSC大阪一同がんばって競技会を行いたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(CMSC大阪 岩下利勝)



左からランサー賞、2位岡選手、1位吉村選手、3位長島選手。



左からミラージュ賞、2位村上選手、1位山尾選手、3位中村選手。